

外国人材に選ばれる
企業を目指して

株式会社伊予アパレル
代表取締役 岡本義生



株式会社伊予アパレル

設立 1973年 10月

社員 33名（日本人15名 技能実習生 18名）

技能実習生の受入れ 2002年スタート

特定技能の受入れ 2025年10月スタート

当初心は中国人技能実習生からスタートして約10年前からはカンボジア人技能実習生を受入れています。



日韓における最低賃金の過去15年間の比較と過去10年間の為替の比較(対米ドル)



最低賃金

日本 730円⇒1121円 (1.54倍)

韓国 4850ウォン⇒10,030ウォン (2.07倍)

為替 (対米ドル)

日本円 76円⇒150円 (約50%下落)

韓国ウォン 1,120ウォン⇒1,455ウォン (約30%下落)



一年を彩るイベント

春の味覚と花見

3月はいちご狩りで春の味覚を満喫し、4月は桜のお花見で季節の移ろいを感じます。

夏とアウトドア体験

5月はBBQなどのアウトドアを楽しみ、8月はブドウ狩りで夏の果物を味わいます。

秋冬の季節イベント

10月は梨狩り、11月は蟹食べ放題、12月はお餅つきと、秋冬も豊かな体験が続きます。

JASTI監査の重要なポイント



1. 労働条件・差別の禁止（コアな労働基準）

最も厳しくチェックされるのは、基本的な労働条件が順守されているかという点です。

2. 安全で衛生的な職場環境

従業員が健康で安全に働く環境が確保されているかも、人権適合の重要な要素です。

3. 人権デューデリジェンスの体制

単に問題がないことだけでなく、問題が発生しないようにするための予防体制が整っていることが求められます。

遊びは楽しく 仕事は厳しく

